

米増産投資100億円上積み

富士重、年産能力37万台に

富士重工業は2016年度に計画する米国工場の増産投資を、当初計画から100億円上積みし300億円規模とする。まず同年度をめぐりに年間生産能力を現在の約4割増の約37万台に増強。さらなる増産をにらみ塗装ラインは年産40万台規模に増強する方針。米国での販売が好調で供給不足が続いており、現地生産の増強を急ぐ。

市場拡大にらむ

米国工場の増強策は5月に発表する。富士重の13年の世界販売は前年比

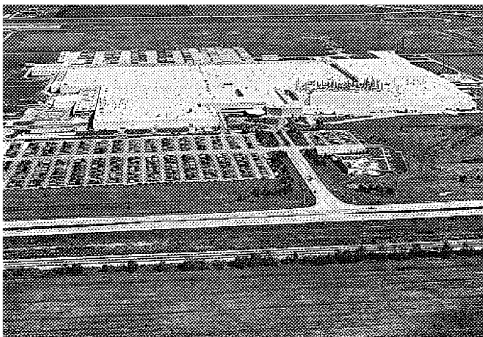
イアナ州の乗用車工場を予定だった。上積みする100億円を年産37万台に能力を引き上げ、塗装ラインを大幅に増強する。富士重工業の乗用車工場は日本と米国の2拠点で、合計の年産能力は約75万台。同社は11年、世界販売を10年以内に10万台で米国向けの生産を増やす余裕がないため現地生産の増強を進める。米国では新車販売が急回復している。12年の販売台数は前年比13%増の約1450万台で、13年で新工場を稼働させる。は1500万台を超える見通し。今年3月単月は145万台と3月としては6年ぶりの高水準だった。

「スバル・オブ・インディアナ・オートモーティブ（SIA）」。現在は「レガシイ」など富士重ブランド車3車種を年17万台、トヨタ自動車から受託する「カムリ」を年10万台規模で生産する。群馬製作所（太田市）から輸出する小型車「インプレッサ」をSIAで現地生産することも検討する。

米国工場の増強は当初、200億円を投じて年産能力を約35万台にす

日本の自動車各社は北米向けに生産能力を相次ぎ増強する

メーカー名	主な生産能力の増強例
富士重工業	米工場の増産投資を100億円上積みし300億円規模に。2016年度メド生産能力4割増強
トヨタ自動車	高級車「レクサス」を米ケンタッキー州の工場です15年から生産
日産自動車	メキシコで年内メド新工場稼働。まず小型車を年17万5000台生産
ホンダ	メキシコに2カ所目の完成車工場を14年稼働。年産能力は約20万台
マツダ	メキシコに建設中の新工場の年産能力を当初計画より6割増の23万台に



富士重は米インディアナ州の工場の能力を増強する